

5 受初児生第 4 号
令和 5 年 6 月 28 日

各都道府県教育委員会担当課長
各指定都市教育委員会担当課長
各都道府県私立学校主管課長
附属学校を置く各国公立大学法人担当課長 殿
小中高等学校を設置する学校設置会社を
所轄する構造改革特別区域法第 12 条第 1 項
の認定を受けた各地方公共団体の担当課長

文部科学省初等中等教育局児童生徒課長
伊藤 史 恵

アイヌの人々の人権に関する啓発動画の活用について

アイヌの人々の人権に関する啓発動画の活用について、法務省人権擁護局をはじめとした関係省庁から別添のとおり依頼がありました。

については、北海道への修学旅行等の事前学習教材として本動画を御活用していただくよう、よろしくお取り計らいくださいますようお願いいたします。

併せて、域内の市区町村教育委員会、所管又は所轄の学校及び学校法人に対しても、お知らせいただくようお願い申し上げます。

< 本件連絡先 >

文部科学省初等中等教育局児童生徒課
03-5253-4111 (内線: 2389)

閣 副 第 4 9 8 号
法 務 省 権 啓 第 7 0 号
国 北 総 第 3 5 号
5 文 企 調 第 2 6 号
令 和 5 年 6 月 2 7 日

文部科学省初等中等教育局児童生徒課長 殿

内閣官房アイヌ総合政策室参事官（公印省略）
法務省人権擁護局人権啓発課長（公印省略）
国土交通省北海道局総務課長（公印省略）
文化庁企画調整課長（公印省略）

アイヌの人々の人権に関する啓発動画の活用について（依頼）

この度、法務省においてアイヌの人々の人権に関する啓発動画「アコロ青春 a=kor アコロ [アイヌ語で「私たちの」]」を公開しました。

本動画は、アイヌ民族にルーツを持つものの、そのルーツを意識せずに生きてきた青年が、同世代のアイヌの人々などを訪ね、アイヌ民族の歴史や文化を学び、アイヌの人々に対する差別について考えることで、違いを認め、お互いを尊重し合い、共に生きる社会を実現することの大切さに気付く過程を追った作品です。

現在、貴省におかれては、学校等における遠足・修学旅行等に民族共生象徴空間（愛称：ウポポイ）を活用する観点から、学校等に対してウポポイに関する情報を提供する取組を行っているものと承知しておりますが、あわせて、学校等における遠足・修学旅行等の事前学習教材として、本動画を御活用いただくことは、こどもたちにアイヌの人々の伝統等に関する知識の普及啓発等を図るとともに、アイヌの人々の人権について考える上で大変有意義なことと考えております。

また、昨年7月に開催されたアイヌ政策推進会議（第13回）においても、

出席した委員から本動画を学校等における北海道への遠足・修学旅行等の事前学習教材として御活用いただくことへの期待が述べられたところです。

つきましては、各都道府県教育委員会等を通じ、所管及び域内の市町村管下の学校等に、本動画を北海道への遠足・修学旅行等の事前学習教材として御活用いただきますよう、格段の御配慮をお願いいたします。

なお、本動画はYouTube 法務省チャンネルで公開しているほか、全国の法務局・地方法務局にてDVDの貸出し及びリーフレットの配布に対応しております。

【動画掲載 URL】 <https://youtu.be/V6DGN1ekTjQ>



<本件連絡先>

法務省人権擁護局人権啓発課人権啓発第二係

安部、野田、木村

TEL : 03-3580-4111 (内線 4416)

E-mail : keihatsu@i.moj.go.jp

アイヌの人々

アイヌの人々に対する理解を深め、
偏見や差別をなくすことが必要です。

アイヌの人々は、固有の言語や伝統的な儀式・祭事、「ユカリ」などの多くの口承文芸等、独自の豊かな文化を持っています。近世以降のいわゆる同化政策等により、今日では、その文化の十分な保存・伝承が図られているとは言い難い状況にあります。

特に、アイヌ語を理解し、アイヌの伝統等を担う人々の高齢化が進み、これらを次の世代に継承していく上で重要な基盤が失われつつあります。

政府は、平成19年9月に採択された「先住民族の権利に関する国際連合宣言」や、平成21年7月の「アイヌ政策のあり方に関する有識者懇談会」による報告を踏まえ、総合的かつ効果的なアイヌ政策を推進しています。

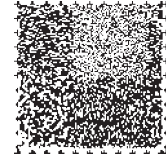
また、令和元年5月に施行された「アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律」では、アイヌの人々が民族としての誇りを持って生活することができ、その誇りが尊重される社会を実現することを目的として、アイヌの人々への、アイヌであることを理由とした差別的禁止に関する基本理念や、アイヌ政策を総合的かつ継続的に実施するための支援措置などが定められています。政府は、同法に基づき、従来の文化振興や福祉政策に加え、地域振興、産業振興、観光振興を含めた施策を推進しています。

令和2年7月、アイヌ文化の復興・創造の拠点として、北海道白老郡白老町に「民族共生象徴空間」（愛称：ウポポイ）が開業しました。こちらは、アイヌの暮らしや伝統芸能を様々な視点から体感することができる場となっています。

法務省の人権擁護機関では、アイヌの人々に対する理解と認識を深め、アイヌの人々に対する偏見や差別的解消を目指して、人権啓発活動や人権相談、調査救済活動に取り組んでいます。



ウポポイウェブサイト
<https://ainu-upopoy.jp/>



本DVDに収録されている映像は、動画共有サイト
YouTube「法務省チャンネル」で視聴可能です。

法務省チャンネル

<https://youtu.be/V6DGN1ekTJQ>



人権について困ったことがあれば…。
ひとりで悩まずにご相談ください

みんなの人権110番（全国共通人権相談ダイヤル）

ゼロゼロ みんなの ひゃくとおぼん
 0570-003-110

子どもの人権110番

ゼロゼロ なのの ひゃくとおぼん
 0120-007-110

女性の人権ホットライン

ゼロ ナナゼロ の ハートライン
 0570-070-810

インターネット人権相談受付窓口

インターネット人権相談  <https://www.jinken.go.jp/>
パソコン、携帯電話、スマートフォン共通



パソコン、携帯電話、スマートフォン共通
<https://www.jinken.go.jp/kodomo>

人権ライブラリー

人権に関する資料（図書、ビデオ、DVD、展示パネル）を借りたい方、お探しの方、人権に関する視察・研修や打合せスペースをお探しの方は、人権ライブラリーをご利用ください。遠方の方でも、郵送等による貸出しも行っています。詳細は下記までお問い合わせいただくか、人権ライブラリーのウェブサイトをご参照ください。

〒105-0012 東京都港区芝大門2-10-12 KDX 芝大門ビル4F
TEL: 03-5777-1919 FAX: 03-5777-1954

Eメール library@jinken.or.jp

ウェブサイト <https://www.jinken-library.jp>

開館時間 午前9時00分から午後5時00分まで（土日、祝日、年末年始は休館）

人権ライブラリー

検索



Movie about the human rights of the Ainu People

アコロ青春
aqikol

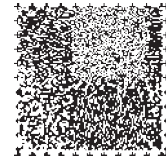
アコロ（アイヌ語で「私たちの」）

アイヌの人々の人権に関する
啓発動画

企画 法務省人権擁護局

公益財団法人人権教育啓発推進センター

制作 株式会社 桜映画社



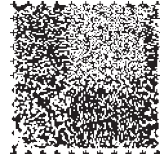
陸上選手として活躍した過去に区切りをつけ、東京から故郷に戻ってきた一人の青年。北海道沙流郡平取町。多くのアイヌの人々が暮らす町。アイヌにルーツを持ちながら、アイヌとは無縁に生きてきた青年はアイヌ文化の継承者として生きることを決意し、小さな旅へと出発する。旅の中でさまざまな分野で活躍する同世代のアイヌたちを訪ね、触れ合い、語り合いながら「アイヌの過去と現在、未来」を深く考えていく…

主人公の姿を通して、自らのアイデンティティとは何か、さまざまな背景を持った人たちが違いを尊重し共生していくには何が必要なのか、を問いかける。

僕はアイヌではありませんが、
まだまだアイヌ文化を学んでいる途中なのです。

平村太幹

小さい頃から走るのが得意で、陸上選手として活躍するべく東京の大学に進学。大学の途中まではアイヌであることを特に意識したことはなかったが、陸上を辞めるタイミングで、アイヌの文化を伝える仕事をしたいと北海道に戻る。仕事でコタン(集落)の再現やチセ(アイヌの伝統的な住居)の修復を行いながら、アイヌの伝統的な木彫に魅せられ作品作りを励んでいる。



本DVDに収録されている映像は、
動画共有サイトYouTube
「法務省チャンネル」で視聴可能です。

法務省チャンネル

<https://youtu.be/V6DGN1ekTJQ>



検索

Contents



アイヌの精神文化と歴史 (ウポポイにて)

公益財団法人アイヌ民族文化財団 民族共生象徴空間運営本部
文化振興部 体験教育課 主任 新谷裕也

カムイは日常のいろんなところにいる

新谷裕也さんは北海道白老町にある民族共生象徴空間「ウポポイ」に勤務し、舞踊や儀式を行っています。ウポポイ内のチセ(アイヌの伝統的な住居)の中で、アイヌの精神文化について話を聞きます。

公益財団法人アイヌ民族文化財団 民族共生象徴空間運営本部
国立アイヌ民族博物館 資料情報室 学芸主査 八幡巴絵
公益財団法人アイヌ民族文化財団 民族共生象徴空間運営本部
本部長 齊藤基也

八幡巴絵さんの案内で国立アイヌ民族博物館にて、アイヌの15世紀後半から近代の歴史を振り返ります。その後、齊藤基也さんとともに、アイヌの方々の意向に沿わないまま発掘収集された「アイヌの人のたちの遺骨」を管理する慰霊施設を訪ね、その役割を伺います。

アイヌの伝統的な文化

工芸家 関根摩耶さんの祖母 貝澤雪子

アイヌ料理が、アイヌ文化に興味をもつきっかけに
貝澤雪子さんに作り方を教えてもらいながら、冠婚葬祭や儀式などで振る舞われるシト(団子)とチエプオハウ(魚汁)を作ります。

アイヌの人々の人権についての座談会

二風谷出身 アイヌにルーツを持つ 関根摩耶

アイヌのことを一つ一つでも知っていたら差別は少なくなる
差別について思うこと、インターネット投稿についてなど、関根摩耶さんを進行役に新谷裕也さんと平村太幹さんにアイヌの「今」と「これから」を語りあってもらいます。

次世代に伝える

平取町教育委員会生涯学習課 アイヌ文化学習係 関根健司
株式会社平取町アイヌ文化振興公社 アイヌ文化教育推進係 原田啓介

子どものうちからアイヌ語に
触れてもらうことが重要

最後に関根健司さんと原田啓介さんを訪ねます。
2人は、アイヌ語の現状、復旧・普及活動のために子どもたちを対象としたアイヌ語教室も
もっています。

